

道内経済団体等との意見交換 (概要)



1 意見交換の実施状況

実施日	意見交換先
令和4年8月17日	北海道経済連合会
令和4年8月18日	一般社団法人北海道IT推進協会
令和4年8月23日	経済産業省北海道経済産業局

2 結果取りまとめ

	主な意見
人材	<ul style="list-style-type: none"> ● デジタルリテラシーを有する高校生などが道外へ流出する懸念がある。 ● IT業界で欲している人材は「繋ぐ人材」。課題解決のためのニーズ調査や課題の明確化が出来る力のある人が欲しい。 (企業間でゴールを共有して何が課題かを両者の言語で翻訳できる力、第三者的な視点で課題への適切な提案が出来る力) ● ゴールまで導くことが出来る推進力のある人も重要。 ● 論理的思考力や創造的発想力を身につけることも重要。
企業	<ul style="list-style-type: none"> ● IT関連の知識以上に必要なスキルや知識は「課題解決力」や「発想力」。 ● 事業規模にもよるが、小規模事業者は新たなアイデアをそこまで期待していない傾向がある。 ● DXの「X(変える)」を決めるのは経営者なのでそこにアプローチすることが重要。 ● 九州の半導体人材育成では、産業界と教育機関が連携することによって半導体産業に携わる人材育成・確保を行っている。 ● 高度なITスキルを有する人材を内部に抱えたい事業者はどれだけいるのか。人件費を考慮すると外部でいいのではとも。
学習	<ul style="list-style-type: none"> ● 課題解決へ導く能力を養うには他の成功事例を学ぶことが効果的。 ● IT企業とユーザー企業がお互いに学び合える場が欲しい。 ● アウトプットの場が不足している。(達成感やモチベーションの維持のため重要) ● トレンドを学ぶ場や機会も必要。 ● セミナー・勉強会もボランティアでやり続けるには限界がある。継続性がポイント。
その他	<ul style="list-style-type: none"> ● 異業種交流の機会が欲しい。 ● 道内主要産業は、ほとんどリアルの世界中心のため、デジタル技術の活用による付加価値をどう付けられるかを自社周辺で考えられるかがポイント。 ● 高度ITと言われるような技術を扱える事業者が道内にどれだけいるのか不明。 ● IT企業も高度な知識・スキルばかり使って事業を行っているわけではない。 ● 育成した人材がアウトプットの場を求めて道外へ流出するのは避けたいところ。